

令和8年6月8日 第343号  
〔発行〕(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部  
支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場  
編集 藤沢支部広報部会  
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

# 2026年度 通常支部総会開催される

2026年5月15日(金) 於：藤沢商工会議所ミナパーク3階

(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の通常支部総会は46社出席の下、138社の委任状を合わせ、支部規約第20条、総会員数の2分の1以上の確保を以って成立し開催されました。来賓に藤沢労働基準監督署より松下署長はじめ岩佐副署長と生田安全衛生課長、協会本部より古屋専務を迎え、森支部長による開会挨拶をいただいた後、第1号議案から第5号議案まで滞りなく決議承認されました。

その後、「無災害事業場表彰」を行いました。これは令和5年から令和7年の3年間に無災害を達成した従業員数100人未満の会員事業場に贈るもので、本年度は2事業場が対象となりました。事業場代表者の出席を賜り、森支部長より表彰状が授与されました。

続いて、藤沢支部の功労者2名と2026-2027年度藤沢支部スローガン入選者1名に対して、「支部功労者表彰」・「支部スローガン入選作品表彰」が行われました。

来賓を代表して松下署長から祝辞と、神奈川労働局の重点施策についてお話をいただきました。

まず、「安全で健康に働くことができる職場づくり」について長時間労働の抑制に触れられ、次に第14次労働災害防止計画の推進において、目標達成に向けて、より一層の活動強化と推進についてお話があり、各事業所に対して協力の要請がありました。最後に本協会藤沢支部ならびに本日参加の皆様のご健勝を祈念したいと述べられ、本総会を締めくくりました。

三菱電機(株)鎌倉製作所 彦坂 純



森支部長



松下署長



古屋専務



橋本副支部長

2026・2027年度(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン

変わる働き方 変わらぬ安全 仲間と築く笑顔の輪

<スローガン入選作品：オイレス工業(株) 藤沢事業所 青木 駿氏>

## 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
副署長 岩佐 牧人



4月1日付けで着任しました岩佐と申します。日頃から労働基準行政に対し多大な御理解・御協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年度までは神奈川労働局労働基準部監督課で、主として司法関係等の業務に従事していました。藤沢労働基準監督署管内には観光で訪れたことはありますが、勤務は初めてとなります。どうぞよろしく願いいたします。

労働基準監督署は、近年の物価高へ対応するため、労働市場全体の賃金引上げに向けた支援を行うほか、長時間労働の抑制や労働条件の確保・改善も引き続き推進していくこととしています。

また、第14次労働災害防止計画（神奈川計画）の目標達成に向け、労働災害防止対策を推進するとともに、令和7年5月に公布された、個人事業者等に対する安全衛生対策の推進、職場のメンタルヘルス対策の推進等を盛り込んだ改正労働安全衛生法等の円滑な施行に向けて取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

貴支部並びに会員事業場の皆様との連携しながら、行政課題への対応を進めていきたいと考えておりますので、一年間、どうぞよろしく願いいたします。

## 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
労災課長 川本 寛



令和8年4月1日付けで藤沢労働基準監督署労災課長として着任しました川本と申します。

昨年度までは相模原労働基準監督署の労災課で勤務しておりました。藤沢労働基準監督署での勤務は、平成24年から平成27年に在籍して依頼、11年ぶりとなります。

私事ではございますが、管内地域は、青春時代の多くを過ごした地域で、思い入れの深い場所であり、再びこの地域で勤務できることをうれしく思っております。

業務では、管内の年度更新対象事業場数が県下3番目であり、また労災給付請求件数も非常に多く、県内トップクラスの状況です。

この様な中ではございますが、不幸にして労働災害に遭われた方々に対して、懇切丁寧な対応を心掛け、迅速かつ適正な給付を行うよう業務に取り組んでまいります。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

## 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
安全衛生課長 生田 悟



4月1日付けで藤沢労働基準監督署安全衛生課長として着任いたしました生田と申します。

昨年度までは、神奈川労働局労働基準部安全課で勤務しており、藤沢労働基準監督署の配属は7年ぶり2回目となります。

さて、本年は第14次労働災害防止推進計画（藤沢労働基準監督署計画）の4年目となります。

目標を達成するには、最低基準を定めた労働安全衛生法を遵守するだけでは、達成することが困難であり、役員事業場を始めとした会員事業場の皆様の自主的な安全管理が必要不可欠です。労働者が関わる全ての作業について、計画的にリスクアセスメントを実施することにより、高リスクを許容可能なリスクに下げることが重要となります。

いかなる理由があっても起こしてはならない死亡災害を撲滅し、労働者一人ひとりが安全に働くことができる職場環境の実現のため、リスクアセスメントを推進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署  
第一方面主任 三浦 彩



4月1日付けで第一方面主任監督官を拝命いたしました三浦と申します。

昨年までは厚木労働基準監督署にて勤務しており、藤沢労働基準監督署での勤務は今回で2回目となります。

平素より、労働基準行政の推進にご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。

近年、働き方の多様化や人手不足への対応、長時間労働の是正など、企業を取り巻く労務管理の課題は一層複雑化しています。そのような状況の中で、法令遵守はもとより、従業員の皆様が安心して能力を発揮できる職場環境の整備が、企業の持続的な発展にとってますます重要となっています。

当署といたしまして、関係法令の周知や適正な労務管理に関する助言・指導を通じて、企業の皆様の自主的な取組を支援してまいります。また、相談しやすい環境づくりに努め、実務に即したきめ細かな対応を心がけてまいります。

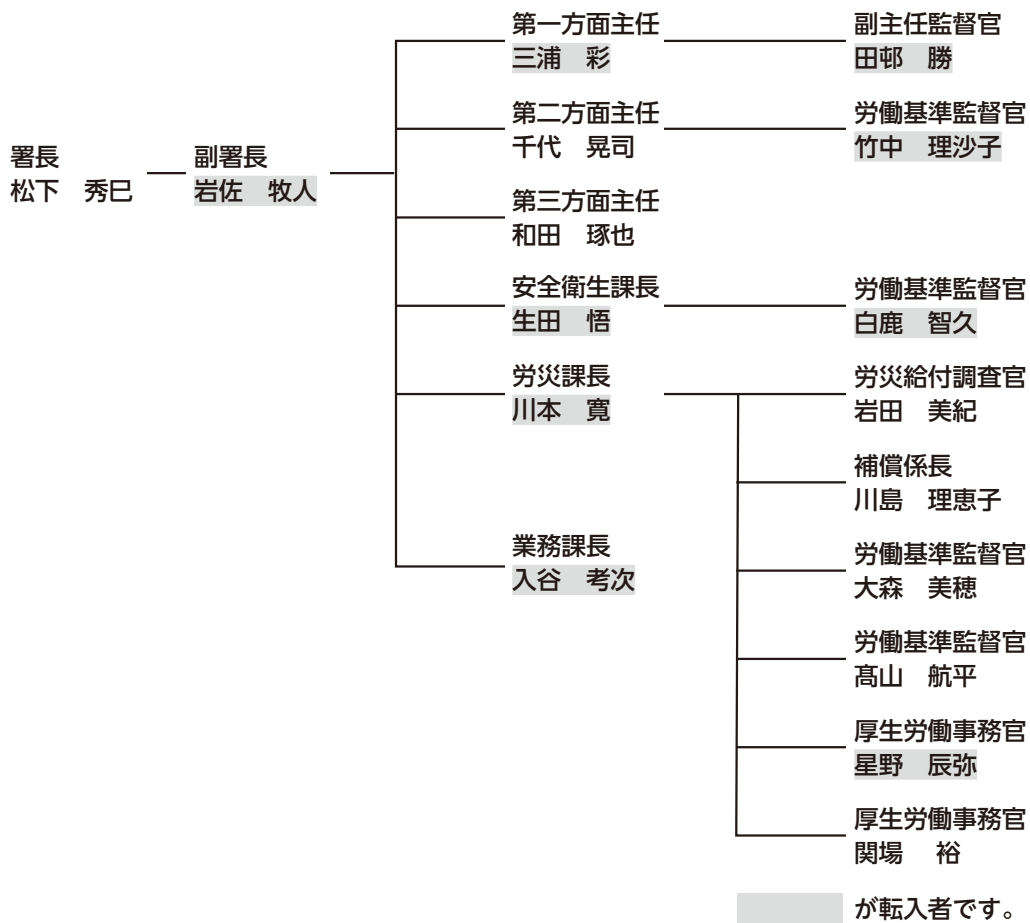
今後とも地域の実情に即した公正かつ的確な行政運営に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 藤沢労働基準監督署からのお知らせ

### 【藤沢労働基準監督署組織図】

令和8年4月1日付けで当署の組織が下記とおりになりました。

組織図 (令和8年4月1日)

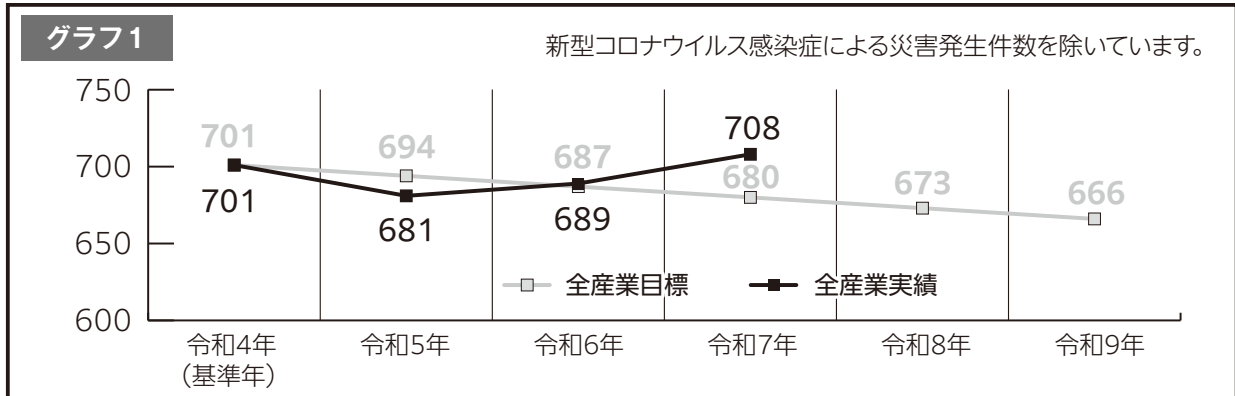


連絡先 藤沢労働基準監督署

〒251-0054 藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎3階

- ◇方面 (監督・労働条件関係) 0466-23-6753
- ◇安全衛生課 (安全衛生関係) 0466-97-6748
- ◇労災課 (労災保険関係) 0466-97-6749
- ◇総合労働相談コーナー 0466-23-7223
- FAX 0466-23-4288

## 第14次労働災害防止推進計画の経過について (3年目終了時点・令和8年3月)



第14次労働災害防止推進計画は、令和9年までに令和4年の休業4日以上死傷災害を5%減少させることを目標に災害防止の各種取組をお願いしています。令和4年を基準年とし、令和5年からスタートした第14次労働災害防止推進計画においては、第13次労働災害防止計画において目標達成の妨げとなった「行動災害」の増加に対して、事業者や労働者における意識高揚を図るべく、自発的取組みを促す施策が盛り込まれています。

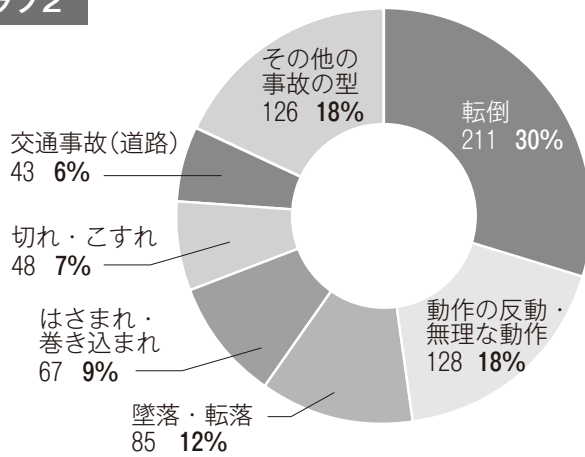
### 【アウトカム指標】

労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策		(令和8年3月末までの実績値)					
転倒の死傷者数を令和4年と比較して令和9年までに増加に歯止めをかける。	179人以下	179人	205人	181人	211人	人	人
	災害に占める割合26%以下	26%	30.1%	26.3%	29.8%		
転倒による平均休業見込み日数を令和9年までに35日以下とする。	35日以下	38.3日	39.5日	37.8日	38.2日		
社会福祉施設における腰痛の死傷者数を令和4年と比較して令和9年までに減少させる。	20人以下	20人	39人	15人	9人	人	人
	社会福祉施設の災害に占める割合17%以下	20%	22.0%	15.1%	9.5%		

化学物質等による健康障害防止対策		(令和8年3月末までの実績値)					
化学物質の性状に関連の強い死傷災害の件数を第13次防期間と比較して令和4年から令和9年までの5年間で、5%以上減少させる。	5年間の合計が7人以下		2人	2人	0人	人	人
熱中症による死傷者数を第13次防期間と比較して減少させる。	5年間の合計が21人以下		6人	11人	9人		

高齢労働者の労働災害防止対策		(令和8年3月末までの実績値)					
60歳以上の労働者による死傷者数を、令和4年と比較して令和9年までに増加に歯止めをかける	163人以下	163人	224人	185人	205人	人	人
	災害に占める割合24%以下	23%	32%	26.9%	29.0%		

グラフ2



その他の事故の型内訳

○激突され	16件
○激突	30件
○高温・低温の物との接触	27件
○飛来・落下	28件
○崩壊・倒壊	6件
○上記以外	19件

事故の型分類

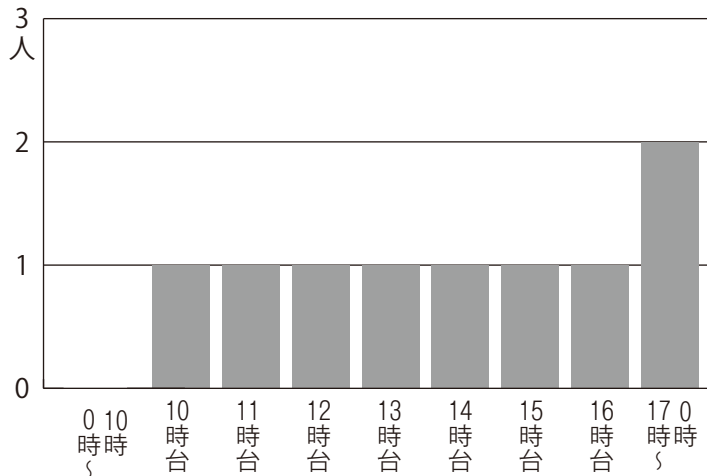
グラフ2の令和7年における事故の型別発生状況では、転倒は211件（30%）と最も多く、次いで、動作の反動・無理な動作128件（18%）、墜落・転落85件（12%）の順となっています。転倒（令和6年181件）、反動・無理な動作（令和7年116件）は令和6年と比べ増加し、この2つの事故の型の災害で339件・48%となり、約半数を占めています。重篤な災害につながりやすいはさまれ・巻き込まれ災害は令和6年の48件から大幅に増加しています。

転倒災害については、神奈川労働局ホームページ「STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川」を参考とした職場における転倒災害リスクの排除に向けた取り組みや、転倒災害に関する労働者への教育や啓発等の意識高揚に向けたより一層の取り組みをお願いします。

※「STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川」では、神奈川県内の事業場の取組事例も紹介しています。（右QRコード）



グラフ3 熱中症による労働災害の時間帯別の発生状況



熱中症による業種別発生件数

○商業	3件
○建設業	2件
○製造業	1件
○警備業	1件
○その他の事業	2件

熱中症発生状況

グラフ3は令和7年における熱中症による休業4日以上労働災害数を時間帯別に示しています。令和7年の熱中症（休業4日以上）の発生件数は9件と令和6年から2件減少しました。

業種別にみると、警備業や建設業等の屋外作業での業種が大部分となりましたが、屋内作業の業種でも発生しています。時間帯別では、各時間帯で発生しており、時間帯ごとの特徴はあまり見られませんでした。日中のほうが暑いにも関わらず、午前中や夕方でも発生していることから、日中同様の対策が求められます。

※熱中症を生ずるおそれのある作業についての労働安全衛生規則の一部を改正する省令、ほか「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」の内容は厚生労働省のホームページを確認ください。

（右QRコード）



## 2025年度 藤沢支部無災害事業場表彰

藤沢支部では、労働災害防止活動の一環として「無災害事業場表彰制度」を設けております。

この制度は、業種を問わず、100人未満の会員事業所を対象とし、3年以上にわたり無災害を継続

している事業所から申請に基づき、表彰を行うものです。2025年は、2事業所がこの要件を満たし、5月15日の通常支部総会にて表彰されました。



(表彰者は2名 表彰状を手に持っている方、左より 敬称略)

事業場名	受賞者名
有限会社トライコーポレーション	清水 雪夫
藤沢生コン株式会社	斉藤 貢

上段左から、生田安衛課長 岩佐副署長  
古屋専務 瀬喜支部長代行  
樫田副支部長代行 堀副支部長代行(新)

下段左から、松下署長 清水 雪夫  
斉藤 貢 森支部長 橋本副支部長(新)

### 有限会社トライコーポレーション

当事業場では、倉庫請負業として入出庫作業・在庫管理それに伴った梱包・納品などを担っております。請負職場においては、入出荷のパレット物が多いため、車両・フォークリフトでの荷扱い作業は、徹底した2人作業及び指差し呼称「ヨシ!!」を遂行中です。2015年から無事故無災害を継続中、今後も「ご安全に!!」を合言葉に安全性の向上に努め、信頼される事業場を目指してまいります。

### 藤沢生コン株式会社

この度、三年間の無災害の表彰を賜り、安全を最優先に努めた全社員の努力が実を結びました。2026年3月にはプラントリニューアル工事も無事に終了し、新体制での稼働を始めております。この最新設備を生かし、地域の皆様へ「安心」と「安定」した高品質な製品を確実にお届けすることが我々の使命です。今後も自主性と協調性を活かし、地域に信頼され貢献できる企業を目指し、一丸となって安全管理に邁進いたします。

### ★広報部会からのお知らせ★

藤沢支部から貸し出しを行っている映像教材DVDのリニューアルを計画しています。皆様のご希望を反映したいと考えております。つきましては、こちらのQRコードのアンケートにご回答ください。(7月8日(水)まで)  
ご協力、よろしくお願いいたします。



## 2026・2027年度 スローガン表彰



5月15日の通常支部総会にて

2026年度・2027年度 藤沢支部スローガン  
変わる働き方 変わらぬ安全 仲間と築く笑顔の輪

(表彰状を持っている方、敬称略)

事業場名	受賞者名
オイレス工業株式会社 藤沢事業所	青木 駿

上段左から、生田安衛課長 岩佐副署長  
古屋専務 瀬喜支部長代行  
堀田副支部長代行 堀副支部長代行(新)

下段左から、松下署長 青木 駿  
森支部長 橋本副支部長(新)

## 〔当面の支部行事予定 6-8月〕

第1回	粉じん作業特別教育	6月2日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	6月16日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	職長教育	6月24日(水)～6月25日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	衛生推進者養成講習	7月7日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	<共催>安全衛生推進者養成講習	7月7日(火)～7月8日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	KYT(危険予知訓練)研修	7月16日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第2回	職長教育	7月29日(水)～7月30日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
第1回	リスクアセスメント研修	8月27日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室

## 全国安全週間・労働衛生週間地区推進大会行事予定

- 第99回 全国安全週間湘南地区推進大会 6月11日(木) Fプレイス労働会館ホール
- 第77回 全国労働衛生週間湘南地区推進大会 9月10日(木) Fプレイス労働会館ホール



## 2025年度 支部功労者表彰



5月15日の通常支部総会にて

(表彰者は2名 感謝状を手を持っている方、左より 敬称略)

事業場名	受賞者名
三菱プレシジョン株式会社	佐々木 良侍
株式会社アルバック	神岡 英明

上段左から、生田安衛課長 岩佐副署長 古屋専務  
瀬喜支部長代行

樫田副支部長代行 堀副支部長代行(新)

下段左から、松下署長 佐々木 良侍

神岡 英明 森支部長 橋本副支部長(新)

## 安・健・快 雑感

以前の寄稿から数年。自宅の家庭菜園はまだ細々と使われています。ここ数年は夏場もかなり暑く、日中の手入れが大変なので、植えっぱなしでも育つ物を植えてみたり、結局植えずに終わったり…。

逆に冬場は何も植えない事が多いので、去年から今年にかけてニンニクを植えてみました。

秋ごろ一粒ずつ植え付けをして、冬を越すとよく見るニンニクになるのですが、なんだか冬も例年より冷え込まずにいたので、ちゃんと育つか不安でした。試しに一本抜いたところ、少し小ぶりながらもちゃんとニンニクになっていました。下の葉が数枚枯れたところに収穫するのだそうです。

もう一つ、3年ほど前にさくらんぼの苗木を植えました。高級品として売られている佐藤錦です。この佐藤錦は一本だけでは実がならないそうで、違う品種(ナポレオン)の鉢植えも購入し隣に置

くことに。1年目は花も咲かずいた樹も、年々花の数が増え、受粉までは出来て来たものの、どうしても緑の実の頃に落ちてしまい、未だに食べられるまでにはなりません。

インターネットで調べたりもしながら剪定したり出来る範囲で世話をしているものの、食べられるまではまだかかりそうで、さすが高級品だなあ難しいんだなあ、と感じています。

今年が一番多く実が出来ているので、一粒位は味わってみたいものです。

既に暑い日が続いているので、剪定や草むしりするのめがついついサボってしまいがちです。

以前は手伝ってくれていた子ども達も大きくなり、週末もバイトやサッカーの試合での不在も増えてきました。

これからはアレもコレも！と植えず、世話をできる範囲で続けていこうかと思っています。

JX金属コイルセンター(株) 佐藤 真也

## 〔編集後記〕

未だ寒暖差はあるものの、日々最高気温が高くなっている昨今、いかがお過ごしでしょうか。

気象庁の情報によれば、今後一か月は、気温が平年より高めに推移し、日によっては急激に気温が上昇することが想定されるとのことです。

この時期は、身体がまだ暑さに十分慣れておらず暑熱順化が不十分な状態で作業を行うこととなるため、熱中症発生リスクが高い時期であり、夏本番に向けた早期対策を、皆さま毎年ご苦労なさっていることと思われます。

当社では少数ながら、無理して作業を頑張ってしまう方もいらっしゃることで、体調不良時には

速やかに申し出できる職場風土づくりが課題で、一人一人に寄り添った対策を講じています。今年度は、オフィスコンビニサービスの自動販売機を導入し、休憩をとりたくなる環境に。中身にはアイスやシャーベットも含め、アプリで購入できるようにしたことと、希望の品を情報提供すると、種類を増やせるメリットもあり、従業員満足度も向上し、今では気軽に対話できることで業務含め改善の兆しです。対話が促進されると、解決する糸口も見えるので、就業時間中のON-OFFを付ける環境配慮をしていきます。

メルシャン(株)藤沢工場 横井 健